

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援教育環境整備事業			シート番号	038-048
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	支援教育
				課	評価責任者(課長名)
					川島

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	教育・生活環境の充実	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	教育基本法 学校教育法 障害者基本法 発達障害者支援法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	特別支援教育を推進するために、就学相談を充実し、支援を要する児童生徒の支援体制の充実を図る必要がある。(平成26年度までの特別支援教育事業を、平成27年度から「特別支援教育推進事業」「特別支援教育環境整備事業」「ユニバーサルデザインスクール事業」の3事業に分割して実施する)				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	障害のある幼児児童生徒				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	インクルーシブ教育システムの構築をめざし、支援学級の運営支援を柱にした教育環境整備や、保護者の意向を尊重し本人の教育的ニーズを踏まえた就学相談や教育相談の充実をすすめる。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○教育環境の整備 ・幼稚園、小中学校支援学級に介助員を配置 ・校外学習等に参加する車いす等を使用する小中支援学級、支援学校在籍児童生徒の車両借上費用を補助 ・支援学級・支援学校在籍児童生徒の宿泊行事参加時に、必要に応じて看護師を派遣 ・医療的ケアが必要不可欠である小中支援学級、支援学校在籍児童生徒に対し看護師を派遣 ・通常の学級に在籍する肢体不自由等の障害により合理的配慮が必要な児童生徒に対して、学校が行う合理的配慮の提供を支援する合理的配慮協力員の活用回数を配当 ○相談体制の充実 ・就学相談、学校を窓口にした相談の実施 ・支援教育アドバイザーによる、就学相談、入学後のフォローアップ、支援学級担当教員等への指導・助言 ・堺市就学支援委員会の開催 ○支援学級担任研修の実施による、教員の専門性向上 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10	直接実施以外の主な支出先	委託業者					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	229,398	210,218	224,936	217,452	274,326	248,565	324,958	
主な事業費内訳	介助員報酬等	千円	214,431	197,204	206,898	205,632	250,739	231,980	269,483
	支援教育アドバイザー報酬等	千円	5,956	5,947	6,018	2,916	3,012	2,909	2,992
	看護師報酬等	千円	3,211	2,732	6,517	4,887	15,460	10,052	17,779
	自動車借上(要支援児童生徒)料等	千円	742	368	536	744	920	536	545
	国・府支出金	千円	3,238	3,086	5,568	3,356	8,798	4,746	9,188
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	226,160	207,132	219,368	214,096	265,528	243,819	315,770	
12 人件費 (b)	千円	24,600	24,600	24,600	24,600	24,300	24,300	24,600	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	253,998	234,818	249,536	242,052	298,626	272,865	349,558	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	特別支援教育環境整備事業	シート番号	038-048
-------	--------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	○教育環境の整備 ・幼稚園全8園、小・中学校115校に、計189名の介助員を配置し、各校園の支援の充実につなげることができた。 ・校外学習等に参加する車いす等を使用する小中支援学級、支援学校在籍児童生徒の車両借り上げ費用補助を、のべ32名に行った。 ・医療的ケアを必要とする支援学級・支援学校在籍児童生徒4名の宿泊行事参加時に看護師を派遣した。 ・学校生活を送る上で日常的に医療的ケアが必要不可欠である支援学級在籍児童2名に対し看護師を派遣した。 ○相談体制の充実 ・小学校を窓口にした就学相談399件を実施した。 ・支援教育アドバイザーによる、就学相談、入学後のフォローアップ、支援学級担当教員等への指導・助言を行った。 ・堺市就学支援委員会を5回開催した。 ○専門性の向上 ・支援学級担任研修(5回)、新任支援学級担任研修(1回)を実施した。						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		15	支援学級担任研修参加率	%	目標値	100	100	100
					実績値	91	92	94
					達成率	91%	92%	94%
					評価	普通	普通	普通
		算出方法・設定根拠など		研修に参加した学校数/小中学校数				
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		16	支援学級担任研修参加者の研修参加満足度	%	目標値	—	100	100
					実績値	—	89	93
					達成率	—	89%	93%
					評価	—	普通	普通
		算出方法・設定根拠など		回収された全研修参加者のアンケートによる、研修内容の満足度を目標とする。H29に関してはデータがない。				

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	支援学級担任研修の参加人数(のべ人数)	人	886	960	635
	②	上記①にかかる年間経費	千円	24,904	24,910	24,572
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	28,108	25,948	38,696
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	介助員配置数	人	165	203	198
	②	上記①にかかる年間経費	千円	221,804	230,232	256,280
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,344,267	1,134,148	1,294,343
	備考(算出についての説明等) 支援学級担任研修への参加					

### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	<b>【分析のチェックポイント】</b> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
	・学校の行事や緊急対応のため、参加ができなかった学校があった。近隣の学校の参加教員から研修内容の伝達を受けるよう指導する等の対応をおこなった。	

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	特別支援教育環境整備事業	シート番号	038-048
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> ・各幼稚園や、小学校・中学校の支援学級の支援が必要な子どもを介助するための介助員が配置できなくなる。 ・医療的ケアが必要な支援学級・支援学校在籍児童生徒に看護師が配置できなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> ・各幼稚園や、小学校・中学校の支援学級の支援が必要な子どもを介助するための介助員が配置できなくなる。 ・医療的ケアが必要な支援学級・支援学校在籍児童生徒に看護師が配置できなくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 介助員や看護師を必要とする児童生徒は増加する傾向にあるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 当該事業と同様の民間サービスがない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( 教育センター ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> ・研修関係については、教育センターに移管済。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> ・本事業内容について、大きな変更は考えていないが、令和3年度にユニバーサルデザインスクール事業を廃止し、支援教育課の事業を整理する中で、本事業内容についても、検討することも視野に入れている。ただし、介助員や看護師配置数は拡充の検討が必要である。		